

成果をあげようとする前向きな態度が生まれてくる。これが自立の促進の要因ともなるのである。

なお、1回の時間は45分～1時間程度、長期にわたる場合は、週1回がおよそのめやすである。1週間の間をおくのは、このくらいの期間をおかないと、前の考えが上手に整理されず、面接を重ねてもあまり発展がないからなのである。

### ③ 秘密の保障

面接では、他人には軽々しく話せないことを話すのであるから、秘密保持が絶対に必要である。

「ここで話したことについては絶対秘密を守り、他の人に口外することはありませんから、この点については、安心して何でも話してください」といって、安心させてやる必要がある。

### ④ 自由な発言の促進

秘密の保障で、「安心して何でも話してください」というのは、自由な発言を促していることになる。

そこで、

「ここでは、こんなことを話しては失礼だとか、こんなことを話すべきではないとか、一切考えないで、あなたが話したいと思っていることを、自由に話してよいのです。私はあなたが話したことについて、一緒に考え、あなたの考えが発展するようにお手伝いしたいんです。あなたの方からすすんで話されないと、私の方も、あなたを助けてあげられないことになります」

ということを付け加えれば、一層自由な発言を促すことになるろう。

## (2) 本論への誘導

場面構成が上手にいても、しばしば、初めは不安からなかなか用件を切り出せなかったり、感情のコントロールができなくて、うまく言葉が出なかったりする。このような時に、適切に対処してやらなければ、真の面接には入れない。

### ① 話すのをためらっている時